



学生・教員をまもる ハラスメント対応

特集

Major Articles

教育機関において、ハラスメントは難しい問題です。どこまで学習者中心の教育となっても、教員-学生間には権力の勾配があります。特に医療系の教育は、患者さんの暮らし、命を支える、という責任が重い職能を身につける過程であり、教員の「指導」は厳しいものになりがちです。また、学生もそうした厳しさのある程度覚悟している場合が多いため、どういったかわかりがハラスメントとなるか、は非常にあいまいといえます。しかし、そのようなあいまいであるからこそ、学生・教員がハラスメントを感じたときの対応は、より重要なものといえるのではないのでしょうか。本特集では、ハラスメント対応の専門家の視座もふまえながら、組織としての目線を大切にしたハラスメント対応についてご紹介します。